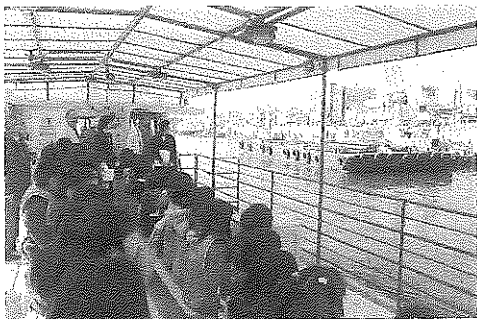


株鈴木組が社会貢献活動

港湾土木を小学生が見学



漁業協会、㈱三浦漁業公社の協力を得て、三浦市立三崎小学校と連携して小学生が漁港の土木事業、三浦の漁業及び栽培事業について学ぶ企画を12日に三崎小3年生37名が参加して行なわれた。

三崎小学校で事前学習を済ませた生徒たちは先生の引率で漁港に向かいそこで、にじいろさかな号に乗船し、係船岸壁の保全工事を見学し(写真)、また稚貝(サザエ2000個)を生徒の手により「大きくなって！」という声とともに放流を行った。その間生徒たちからは、工

事現場に対して、栽培事業について積極的な質問があり、鈴木組水口現場所長より分かりやすく説明が行われた。生徒たちは漁港から学校に向かい帰路に着いた。

社会で広まりつつあるCSRであるが、このように地域に密着しさらに子どもたちに実際の現場を見学させるといふ機会は余りない中、このような企画が公共土木事業及び漁業に関して生徒たちに関心を持たせたことに対し、三崎小大和校長は「生徒たちに貴重な体験をさせて頂き非常に感謝している」と語った。

真鶴町に本社を置く株式会社鈴木組は、海洋土木工事を中心に、石材採取・販売等の業務を行っており、一方企業の社会的な責任を果たすべく地域社会貢献活動

(CSR)を継続的に行ってきた。この地域貢献活動事業の一環として、県から特定第3種三崎漁港の平成24年度日ノ出2号係船岸壁保全工事の施行を契機に、みうら漁業協同組合(財) 神奈川県栽培培